

2022年5月31日

関係各位

城西現代政策研究編集委員会
研究推進委員会
委員長 市川 直子

第10回城西現代政策研究会開催について（案内通知）

謹啓 各位におかれましては、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび現代政策学部におきまして、第10回城西現代政策研究会を下記の通り開催することとなりました。今回の城西現代政策研究会では、10回目の開催を記念致しまして、現在、本邦滞在中の、エトヴェシュ・ロラード大学人文学部日本学科長の梅村裕子先生をお招きしてご講演頂きます。

各位におかれましてはご多用中とは存じ上げますが、万障お繰り合わせの上、ご出席を賜ることが叶いましたら幸甚に存じ上げます。今回の研究会は、感染対策を施した上で、対面形式（会場）とオンライン形式（Zoom）併用型にて開催致します。なお、事前の申し込みは不要です。 謹 白

記

日 時： 2022年6月17日（金）16：30～18：00

発表者： 梅村 裕子 先生（エトヴェシュ・ロラード大学人文学部日本学科長）

テーマ： 「知られざるエピソードで綴る日本・ハンガリー交流史」

～ハンガリー人の描いた明治の日本を中心に～

司会者： ベルタラニチュ・ボシティアン准教授（現代政策学部教員）

会場： ・城西大学坂戸キャンパス 22号館 301教室

・Zoom トピック 第10回 城西現代政策研究会

ミーティングID 847 7502 5536 セキュリティパスコード 534899

参加時に認証を求める：Zoom にサインイン

<https://us02web.zoom.us/join/84775025536>

発表要旨：日本とハンガリーの交流史はまだあまり知られていない分野であり、今回は皆さんの関心を引くようなエピソードを拾って交流史の初期に焦点を当てる。特に早い時期に日本へ来たハンガリー人達が描いた明治時代の日本を中心に取り上げる。どんな日本が描かれ、西欧の目に何が映っただろうか。また最初にハンガリーを旅した日本人は誰だっただろうか。

先生略歴：エトヴェシュ・ロラード大学人文学部日本学科長。同大学歴史学科大学院卒。専門はハンガリー近現代史。2003年に歴史学の博士号取得。テーマは日本・ハンガリー交流史。ブダペスト日本大使館元専門調査員。今年度は国際交流基金の日本研究フェローとして城西国際大学中欧研究所を拠点として研究に従事。主な著書に「日本海からドナウ河畔へ～日本・ハンガリー関係史における今岡十一郎の足跡」「日本とハンガリーの相互認識」など。日本のメディアにてハンガリーに関する寄稿多数。翻訳書に「コチシュ・ゾルターン～鬼才音楽家の一年を追って～」など。2019年両国の親善に尽くした功績によりブダペストにて大使表彰される。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

第10回城西現代政策研究会担当：小野 義典（本学部准教授）

内線番号 3504 メールアドレス：yono@josai.ac.jp